奈良時代

名前

問1　律令国家が「公地公民」の原則に基づき、土地と人民を直接支配するために定めた制度について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 戸籍に登録された6歳以上の男女に口分田を与え、その人が死亡したときには国に返還させた。
2. 新しく開墾した土地については、三世代にわたって私有することを認めることで農地を拡大させた。
3. 土地の不足を解消するため、新しく開墾した土地を期限なく永久に私有することを認めた。
4. 地価の3%を現金で納めさせることで、土地の所有権を法的に認め、国家財政を安定させた。

問2　東大寺の正倉院には、ペルシャ（現在のイラン付近）を起源とする文様が施された楽器や、ガラス製品などが収められています。これらの宝物が、当時の日本にもたらされた歴史的背景として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 元寇の際、捕虜となったモンゴル兵や高麗兵から、大陸の優れた工芸技術や軍事的な知識が日本各地に普及したため。
2. 平氏が進めた日宋貿易によって、宋から大量の青磁や白磁、銅銭が輸入されるとともに、最新の印刷技術が伝わったため。
3. 足利義満が開始した勘合貿易により、明から銀や銅などの対価として、書画や刀剣が日本に大量に持ち込まれたため。
4. 遣唐使の派遣などを通じて、シルクロードを経由した西アジアやインドの国際的な文化が、唐から日本へと伝わったため。

問3　奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、天皇や貴族から、九州の防備にあたった防人や農民といった庶民の歌まで幅広く約4500首が収録されているものは何ですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 新古今和歌集
2. 古今和歌集
3. 万葉集
4. 懐風藻

問4　和同開珎が発行された律令国家の時代において、人々の管理と土地の分配を目的として行われた「班田収授法」の説明として正しいものはどれですか。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. 海外から日本へやってきた渡来人にのみ、特定の農地を貸し出して耕作させる仕組み
2. 地方の豪族が持つ土地を国が強制的に没収し、一律に貴族へ再分配する仕組み。
3. 戸籍に登録されたすべての人々に口分田を与え、その人が亡くなると国に返還させる仕組み。
4. 新しく開墾した土地であれば、三世代にわたって私有することを認める仕組み。

問5　奈良時代の文化を象徴する『万葉集』の大きな特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 大阪府公立入試 類似）

1. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。
2. 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。
3. 聖徳太子の功績をたたえるために、仏教の教えを中心にまとめられている。
4. すべてかな文字で記述されており、女性文学が発展するきっかけとなった。

問6　千葉県市原市にある「上総国分尼寺跡」のような寺院は、仏教の力で国家を守ろうとした聖武天皇の命令によって全国に建立されました。このように仏教による統治が進められた時代に、土地制度において生じた変化として正しいものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. すべての土地の測量が行われ、農民に直接年貢を負担させる制度が確立した。
2. 開墾した土地の永代私有が認められ、公地公民の原則が崩れ始めた。
3. 土地の売買が全面的に禁止され、班田収授の仕組みが厳格に守られた。
4. 武士が地方の領主として台頭し、独自の知行国を支配するようになった。

問7　奈良時代、朝廷は命がけの航海を経て唐に使節（遣唐使）を派遣しました。留学生や僧が長期間滞在して学んだ成果を日本に持ち帰った背景には、どのような目的がありましたか。最も適切なものを選びなさい。（2019年 広島県公立入試 類似）

1. 朝鮮半島における軍事的な優位性を確保するため、唐と軍事同盟を結ぶため
2. 唐の進んだ政治制度や文化を学び、国内の律令制度を整えるため
3. 大陸の優れた鉄資源を確保するため、軍事的な従属関係を築くこと
4. 中国の皇帝から「倭王」の称号を得ることで、国内での地位を安定させるため

問8　聖武天皇が国分寺や国分尼寺を全国に設置した目的について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. 律令制度に基づき、全国の戸籍調査を円滑に進めるための地方役所の出先機関とするため。
2. 疫病の流行や貴族の反乱による社会の混乱を、仏教の力によって鎮め、国家の安泰を願うため。
3. 藤原氏が摂政や関白として実権を握るのを防ぐため、寺院に独自の軍事力を持たせるため。
4. 壬申の乱によって打撃を受けた地方勢力を、寺院の管理を通じて中央集権体制に組み込むため。

問9　奈良の都を中心として、大陸の影響を受けた国際色豊かな文化が栄えた時代に関する説明として、聖武天皇ゆかりの品々や当時の国際交流を裏付ける宝物が納められた建物の名称を答えなさい。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. 正倉院
2. 鹿苑寺金閣
3. 法隆寺夢殿
4. 平等院鳳凰堂

問10　聖武天皇が東大寺に巨大な仏像（大仏）を造立することを決意した背景には、当時の社会情勢が深く関わっています。その背景として適切な説明を選んでください。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 大陸との国交を断絶したことで日本独自の文化が衰退し、改めて唐の文化を取り入れる象徴とするため
2. 天然痘の流行や飢饉、貴族による政変が続き、それらの災いを仏教の力で鎮めたいと考えたため
3. 日本各地でキリスト教が広まり始め、それに対抗するために仏教寺院のネットワークを強化したかったため
4. 武士の勢力が増大し、その力を抑えるために仏教を国の最高位の教えとして再編しようとしたため

問11　奈良時代の律令国家が、平城京に「市」を設置し「和同開珎」を鋳造した目的やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 当時深刻だった銅不足を解消するために、平城京の市に集まる商人から強制的に銅を回収する手段として和同開珎を発行した。
2. 和同開珎を平城京の市でのみ使える「記念品」として発行することで、地方から平城京への人口流入を防ぐことを最大の目的としていた。
3. 全国の農民に貨幣を均等に配布することで、平城京以外の地方都市においても物資の売買を禁止し、自給自足の生活を徹底させるためであった。
4. 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。

問12　奈良時代、政府から民衆への直接の布教が禁じられていた中で、各地で橋やため池を築くなどの社会事業を行いながら、人々に仏教の教えを説いた人物は誰ですか。この人物は、後にその影響力の大きさを認められ、東大寺の大仏造営にも協力しました。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 空海
2. 法然
3. 鑑真
4. 行基

答え合わせ・解説

問1	答え 1 戸籍に登録された6歳以上の男女に口分田を与え、その人が死亡したときには国に返還させた。	大化の改新から続く律令制度の確立により、土地と人民は国家のものとする公地公民の原則が示されました。この原則を維持するため、6歳以上の男女に「口分田」を割り当て、死後は国に返させる「班田収授法」が実施されました。他の選択肢にある、開墾した土地の私有を認める動き（墾田永年私財法など）は、後にこの制度が崩れる要因となりました。
問2	答え 4 遣唐使の派遣などを通じて、シルクロードを経由した西アジアやインドの国際的な文化が、唐から日本へと伝わったため。	奈良時代は遣唐使が頻繁に派遣され、当時の世界最大の都市であった唐の長安から、シルクロードを介した国際的な文化が日本に流入しました。この時期の文化は天平文化と呼ばれ、正倉院に収められた宝物はその「シルクロードの終着点」としての日本の姿を象徴しています。
問3	答え 3 万葉集	奈良時代の文化を代表する作品で、大伴家持が編纂に関わったとされています。漢字の音や訓を日本語の表記に用いた「万葉仮名」で書かれていることが特徴です。当時の特権階級だけでなく、名もなき庶民の切ない心情や、厳しい任務に赴く防人の歌などが収められており、当時の社会の様子や人々の感情を今に伝える貴重な史料となっています。
問4	答え 3 戸籍に登録されたすべての人々に口分田を与え、その人が亡くなると国に返還させる仕組み。	班田収授法は、国家が土地と人民を直接支配する「公地公民」の原則に基づいています。6歳以上の男女に土地（口分田）を与え、本人の死亡によって国に返還させることで、土地の私有化を防ぎ、安定的な税収を確保しようとしました。
問5	答え 1 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。	当時の社会状況を反映し、天皇から庶民にいたるまで多様な人々の感情が詠み込まれている点が最大の特徴です。特に九州の警備にあたった人々の心情を詠んだ「防人の歌」や、東日本の民衆の歌である「東歌（あずまうた）」などは、当時の地方の人々の生活を知る貴重な史料となっています。
問6	答え 2 開墾した土地の永代私有が認められ、公地公民の原則が崩れ始めた。	聖武天皇の時代は、国分寺や国分尼寺の建立、東大寺の大仏造立など仏教を中心とした国づくりが進められた時期です。これと並行して、経済面では土地不足を解消するために「墾田永年私財法」が出されました。この法令は、それまで国家がすべての土地を管理するという「公地公民」の建前を事実上放棄するものであり、有力者による土地の私有化という大きな社会の変化を招きました。
問7	答え 2 唐の進んだ政治制度や文化を学び、国内の律令制度を整えるため	当時の日本は、唐の進んだ国家体制をモデルとして、天皇を中心とした中央集権的な国家づくりを進めていました。そのため、使節と共に送られた留学生や僧は、現地の優れた政治制度や律令、仏教文化などを深く学び、帰国後に日本の律令制度の整備や文化の発展に大きく貢献しました。一方、称号を得ることで権威を強めようとしたのは、より古い時代の外交の特徴です。
問8	答え 2 疫病の流行や貴族の反乱による社会の混乱を、仏教の力によって鎮め、国家の安泰を願うため。	聖武天皇の治世では、天然痘という感染症が猛威を振るい、当時の政権幹部である藤原四兄弟が相次いで病死したほか、藤原広嗣による反乱が起きるなど、国家的な危機に直面していました。このような不安を取り除き、人々の心を安定させるために、仏教という強力な精神的支柱を国家運営に取り入れ、全国規模での寺院建立が進められました。これは律令国家の整備が進む中で、宗教的権威を統治に利用した事例といえます。
問9	答え 1 正倉院	奈良時代の天平文化を代表する建築物であり、聖武天皇の遺品や東大寺の儀式に使用された道具などが保管されています。校倉造という建築様式が用いられ、シルクロードを通じて西アジアやペルシャからもたらされた品々が含まれていることから、当時の日本が大陸と盛んに交流していたことがわかります。
問10	答え 2 天然痘の流行や飢饉、貴族による政変が続き、それらの災いを仏教の力で鎮めたいと考えたため	聖武天皇の治世では、長屋王の変などの激しい権力争いに加え、天然痘の大流行による人口減少や飢饉が発生し、社会は非常に不安定でした。こうした深刻な状況を打破し、人々の心をまとめ、国家を再建する拠り所として、鎮護国家の思想に基づく大仏造立や天平文化の振興が行われました。
問11	答え 4 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。	律令国家は、唐の優れた貨幣制度を導入することで、国家としての権威を高めようと考えました。平城京内に市場を整備し、和同開珎による取引を促進した背景には、都の建設に従事する労働者への支払いや必要な資材の調達を、物々交換ではなく貨幣を介して効率的に行うという経済的な狙いがありました。
問12	答え 4 行基	行基は、当初は僧尼令に背いて民衆に布教したとして弾圧されましたが、橋の建設やため池の整備といった社会事業を通じて民衆から絶大な支持を得ました。聖武天皇は、東大寺の大仏造営に必要な膨大な労働力や資金を集めるために、民衆に顔が広い行基の力を必要とし、彼を大僧正として迎えて協力を求めました。

奈良時代

名前

問1　8世紀の日本において、律令国家の体制を整える一環として、唐の都である長安を模範に現在の奈良市に造営された都を何といいますか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 難波京
2. 藤原京
3. 平安京
4. 平城京

問2　奈良時代の日本は、大陸の進んだ文化や仏教の経典を取り入れるために遣唐使を派遣しました。遣唐使が唐の都である長安に向かうための経路において、初期は九州から朝鮮半島の西沿岸を北上して進む「北路」が一般的でしたが、のちに東シナ海を直接横断して揚州方面へと向かうようになった経路の名称を答えなさい。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. シルクロード
2. 南海路
3. 東山道
4. 南路

問3　万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 藤原定家
2. 大伴家持
3. 紀貫之
4. 山上憶良

問4　奈良時代、律令国家の体制が整えられる中で編纂された、日本の神話や伝承、歴史を記録した歴史書の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2026年 新潟県公立入試 類似）

1. 万葉集・風土記
2. 源氏物語・枕草子
3. 古事記・日本書紀
4. 平家物語・太平記

問5　大宝律令が制定された飛鳥時代後半から奈良時代にかけて、律令国家は戸籍に基づいて人々に土地を割り当てました。班田収授法により、6歳以上の男女に与えられ、その人が亡くなると国に返還することとされた耕作地を何といいますか。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 名田
2. 荘園
3. 口分田
4. 墾田

問6　古代日本の租税制度のうち、班田収授法との関わりが最も深い「租」の仕組みや特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）

1. 絹や布、糸といった各地の特産品を、都まで運んで納める負担。
2. 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。
3. 国司の命令により、土木工事などのために年間60日を限度として働く負担。
4. 都での労役の代わりに、麻布などを都まで運んで納める負担。

問7　遣唐使の航路は、当初朝鮮半島沿岸を通る安全な「北路」が使われていましたが、やがて東シナ海を横断する危険な「南路」へと変更されました。航路が変更された背景に関する説明として最も適切なものを選びなさい。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 新羅が日本に対して友好の証として東シナ海の新しい航路を譲渡したため。
2. 唐の都が東シナ海沿岸に移転したことで、南路を利用する方が便利になったため。
3. 日本が唐や新羅と対立したことで、朝鮮半島沿岸の安全な航路を通行できなくなったため。
4. 大型船の造船技術が向上し、東シナ海を横断する方が安全で短時間で到達できたため。

問8　奈良時代、律令に基づいた政治が進められる中、遣唐使の要請を受けて日本を訪れ、唐招提寺を建立した人物は誰ですか。中央を南北に貫く朱雀大路や、官営の市場である東市・西市が整備された平城京の時代を背景に選んでください。（2019年 秋田県公立入試 類似）

1. 平将門
2. 鑑真
3. 天智天皇
4. 藤原清衡

問9　律令制のもと、班田収授の法によって人々に与えられた口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3パーセントを納めることとされた税の名称を選びなさい。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 庸
2. 調
3. 雑徭
4. 租

問10　白村江の戦いでの敗戦が、その後の日本の対外関係や文化交流に与えた影響についての記述として最も適切なものを選びなさい。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 唐との国交が完全に断絶したため、遣唐使の派遣そのものが廃止され鑑真らの来日も阻止された。
2. 新羅が日本を支配下においたため、遣唐使は新羅の許可なしに航行することができなくなった。
3. 朝鮮半島での影響力を強めた日本は、北路と南路の両方を自由に使い分けて遣唐使を派遣した。
4. 唐や新羅との関係悪化により安全な北路が使えなくなり、遣唐使は危険な南路を通ることを余儀なくされた。

問11　奈良時代の文化的な特色を示す記述として、適切なものはどれですか。当時の社会状況や、日本最古の和歌集である『万葉集』の内容を踏まえて答えなさい。（2026年 島根県公立入試 類似）

1. 遣唐使の廃止によって生まれた国風文化の流れを汲み、ひらがなを用いた和歌が流行した
2. 醍醐天皇の命によって編纂された最初の勅撰和歌集であり、繊細で優美な歌風が重んじられた
3. 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある
4. 後鳥羽上皇の命で編纂され、藤原定家らによって象徴的な美しさを追求した歌が収められた

問12　奈良時代、聖武天皇は社会の混乱を鎮めるために、仏教の力で国家を守ろうとする「鎮護国家」の思想に基づいた政策を推進しました。この政策に関する当時の社会背景と具体的な取り組みの説明として、最も適切なものを選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 遣唐使の廃止に伴う独自の国風文化の発展を目指し、貴族の邸宅に大規模な仏像を安置した。
2. キリスト教の伝来による思想的な対立を解消するため、新しい経典を全土に配布した。
3. 武士の台頭による戦乱を鎮めるため、地方の豪族に独自の寺院を建立させ、武器を回収した。
4. 天然痘の流行や政情不安を背景に、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立した。

問13　東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシアといった遠方の地域の特色を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。
2. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。
3. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。
4. 日本がペルシアやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 平城京	710年に元明天皇によって遷都されたこの都は、唐の長安をモデルにした大規模な都市計画に基づいて造られました。東西と南北に走る道路によって碁盤の目のように区画されており、中央北端には天皇の住まいや官庁が集まる平城宮が置かれました。
問2	答え 4 南路	朝鮮半島の沿岸を進む北路に対し、東シナ海を横断して揚州方面へ向かう経路は南路と呼ばれます。新羅との関係悪化や、唐の文化をより迅速に取り入れる必要性から、航海技術が未熟で遭難の危険が高いにもかかわらず、奈良時代後半にはこの南路が主に利用されるようになりました。これにより、唐の最新の仏教文化や制度が日本へもたらされました。
問3	答え 2 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。
問4	答え 3 古事記・日本書紀	奈良時代には、国家としての正当性を示すために大規模な歴史書の編纂が行われました。天武天皇の発案から始まり、後に完成した『古事記』と、漢文で記された正史である『日本書紀』がその代表です。選択肢にある『源氏物語』などは平安時代の文学作品であり、歴史書ではありません。
問5	答え 3 口分田	律令制のもとでは、土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則がありました。班田収授法はこの原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の人々に、その身分に応じて耕作地を貸し出し、死後は国に返還させる仕組みです。これにより、国家は安定した税（租）の徴収を目指しました。
問6	答え 2 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。	「租」は班田収授の制と密接に結びついており、政府から与えられた口分田という土地を課税対象としていました。これに対し、「調」は地方の特産物、「庸」は都での労役（歳役）の代わりの布、「雑徭」は地方での労働を指し、これらは土地ではなく人（成人男性）を主な対象として課された税であるという違いがあります。
問7	答え 3 日本が唐や新羅と対立したことで、朝鮮半島沿岸の安全な航路を通行できなくなったため。	白村江の戦いによって日本が唐・新羅の連合軍に敗れたことで両国との関係が悪化しました。その結果、朝鮮半島沿岸を通る安全な「北路」が使用できなくなり、危険な東シナ海を横断する「南路」をとらざるを得なくなりました。
問8	答え 2 鑑真	5度にわたる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、唐から来日しました。聖武天皇の招きに応じ、日本の僧侶に正しい規律を授ける役割を担いました。当時の平城京は唐の長安を模した計画都市であり、仏教の力を利用して国家の安定を図る「鎮護国家」の思想が強まっていました。
問9	答え 4 租	奈良時代に整えられた律令制では、6歳以上の男女に口分田を与える「班田収授の法」が運用されていました。この口分田という土地に対して課された税が「租」であり、収穫した稲を納める義務がありました。これに対し、庸や調は主に成人男性に課された負担です。
問10	答え 4 唐や新羅との関係悪化により安全な北路が使えなくなり、遣唐使は危険な南路を通ることを余儀なくされた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた日本は、両国との関係が悪化したため朝鮮半島沿岸の「北路」を通れなくなりました。そのため、遭難の危険が高い東シナ海を横断する「南路」で遣唐使を派遣するようになり、鑑真の渡航難航などの試練につながりました。
問11	答え 3 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある	『万葉集』は、まだ「かな文字」が発明されていない時代に、漢字の音や訓を用いて日本語を表記する「万葉仮名」で書かれました。防人歌（さきもりうた）や東歌（あずまうた）に代表されるように、名もなき民衆の歌が含まれていることが、平安時代以降の勅撰和歌集との大きな違いです。他の選択肢は平安時代以降の文化や勅撰和歌集（古今和歌集・新古今和歌集）の説明に該当します。
問12	答え 4 天然痘の流行や政情不安を背景に、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立した。	聖武天皇の時代には、天然痘の猛威による人口減少や、貴族間の激しい政争、飢饉といった深刻な社会不安が続いていました。このような危機的な状況を仏教の信仰によって克服し、国家の安定を図ろうとしたのが「鎮護国家」の思想です。この目的を達成するため、各令制国に国分寺・国分尼寺を置く制度を整え、その総本山として平城京の東大寺に巨大な盧舎那仏（大仏）を造立しました。
問13	答え 2 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。	奈良時代の文化が国際的な性格を持つ背景には、唐の都である長安が「シルクロードの終着点」として機能していたことが挙げられます。長安には西方から多様な文物が流入しており、日本は遣唐使を派遣して唐の優れた制度や文化とともに、間接的に西アジアやペルシアなどの工芸技術やデザインを取り入れました。モンゴル帝国の影響は鎌倉時代の元寇以降の時期に関する記述であり、時代が異なります。

奈良時代

名前

問1　奈良時代の都の跡から出土した木簡に、「伊豆国賀茂郡」という地名とともに、魚の加工品である「鰹（かつお）」を十斤納めたことが記されているものがあります。律令制において、このように地方の特産品を都へ直接納めることが義務付けられた租税を何といいますか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 雑徭　2. 庸　3. 租　4. 調

問2　奈良時代の文化的な特色を示す事例として、正倉院に収蔵されている「瑠璃坏（るりのつき）」と呼ばれるガラス製の器があります。このような宝物が現代にまで残されていることは、当時の文化のどのような側面を象徴しているか、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面
2. 浄土信仰の広まりにより、平等院鳳凰堂に代表されるような極楽浄土を夢見る貴族的な側面
3. かな文字の成立に代表されるように、日本の風土や日本人の感情に合わせた国風の側面
4. 地方の豪族が独自に大陸と交易を行い、それぞれの地域で仏教文化を独自に発展させた側面

問3　律令国家が全国的な「戸籍」を作成し、6歳以上の男女に土地を分け与える「班田収授の法」を施行した最大の目的は何ですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった高度な農具を、身分に応じて平等に配布するため
2. 仏教を広めることで、疫病や社会不安を鎮めるための台帳とするため
3. 人々の氏名や年齢を把握し、租・庸・調などの税を確実に徴収するため
4. 十七条の憲法を普及させ、役人が守るべき道徳を全国に徹底するため

問4　奈良時代の都である平城京は、海から離れた内陸に位置していましたが、発掘調査で見つかった木簡などの記録から、各地の海産物などが大量に運び込まれていたことが分かっています。都にこのような各地の産物が集まった理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 地方の特産物を都へ納める「調」という税制が定められていたため
2. 収穫した稲の3%程度を、地方の役所に貯蔵する仕組みがあったため
3. 防人として九州へ派遣される兵士が、食料として持参したため
4. 地方の役所で働く代わりに、10日間の労働を都で行う義務があったため

問5　奈良時代に唐から鑑真が招かれた歴史的背景と、彼が「戒律」を伝えたことによる影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 土木事業や貧民救済を通じて、国家の許可なく民衆に直接布教を行うための新しい組織作りを推進した。
2. 唐で流行していた禅の教えを広めることで、文字を読めない武士層でも悟りを開けるような簡素な信仰を確立した。
3. 税の免除を求めて勝手に僧侶になる者が増えていたため、正式な僧侶を認定する基準を設けて仏教の秩序を正した。
4. 比叡山に延暦寺を建立することで、平安京の北東を守護し、天皇を中心とした新しい国家体制の精神的支えとした。

問6　奈良時代末期にまとめられた、現存する日本最古の歌集である「万葉集」の編纂に深く関わったとされる、当時の代表的な歌人は誰ですか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 紀貫之　2. 大伴家持　3. 太安万侶　4. 藤原定家

問7　律令制のもとで、中央政府から地方の国々に派遣され、徴税や裁判などの行政を担った官職を何といいますか。地元の有力豪族が任命された郡司を指揮・監督した立場を指す名称として正しいものを、次のなかから選びなさい。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 地頭　2. 県令　3. 守護　4. 国司

問8　律令国家が農民に「口分田」を与えた主な目的と仕組みの説明として、最も適切なものはどれか。（2025年 静岡県公立入試 類似）

1. 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。
2. 貴族や寺社の勢力を強めるために、広大な土地の管理を農民に委託するため。
3. 農民の私有地を認め、さらに開墾した土地を永久に所有させるため。
4. 地方の豪族が所有していた土地を、農民が買い取れるようにするため。

問9　8世紀初頭に大宝律令が制定され、都が平城京に移された頃の日本において、国が農民の生活を把握し税を徴収する基礎とした、6歳以上の男女に土地を割り当てる制度を何といいますか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）

1. 班田収授の法　2. 墾田永年私財法　3. 太閤検地　4. 地租改正法

問10　8世紀の奈良時代、聖武天皇が東大寺に大仏を建立し、全国に国分寺・国分尼寺を建てるなど、仏教の力で国を治めようとした時期に栄えた文化の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）

1. 禅宗の影響を受け、茶の湯や水墨画などに見られる簡素で深い趣のある特色を持っている。
2. 武士の台頭を背景として、力強く素朴で現実的な特色を持っている。
3. 平安遷都後の貴族社会において、日本の風土や生活に合わせた日本独自の特色を持っている。
4. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。

問11　8世紀の日本において、律令国家の体制を整える一環として、唐の都である長安を模範に現在の奈良市に造営された都を何といいますか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 難波京　2. 平安京　3. 平城京　4. 藤原京

問12　明治政府が組織を整えていく過程で、行政の最高意思決定を行う「正院」、法案の審議を行う「左院」、各省の調整を行う「右院」の三院が設置されました。これらの三院を統括する位置にあり、古代の律令制に倣って名付けられた最高機関の名称として正しいものを選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 枢密院　2. 太政官　3. 議定　4. 参議

問13　奈良時代、律令国家のもとで農民には重い負担が課せられていました。その中の一つに、唐や新羅などからの侵攻に備えて、主に東日本の農民が徴用され、現在の福岡県周辺などの九州北部の警護にあたった兵士を何と呼びますか。（2022年 京都府公立入試 類似）

1. 防人　2. 地頭　3. 武士　4. 守護

問14　奈良時代、唐から日本へ招かれ、日本の僧侶が守るべき生活規律である「戒律」を伝えた人物は誰ですか。彼は5回にわたる渡航の失敗や失明という苦難を乗り越えて来日し、日本の仏教制度の確立に大きく貢献しました。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 最澄　2. 鑑真　3. 行基　4. 空海

答え合わせ・解説

問1	答え 4 調	律令制のもとで、成人男性（正丁など）に課せられた租税のうち、絹や布、または各地の海産物といった特産品を都に納める負担を「調」と呼びます。出土した木簡に記された「鰹」のような記録は、当時の地方産品が都に集約される仕組みを裏付ける重要な史料です。稲を納める「租」が地方の倉庫に貯蔵されたのに対し、調は都まで運ばれ、役人の給与や政府の運営費用に充てられました。
問2	答え 1 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面	正倉院には聖武天皇ゆかりの品々が納められていますが、そこには唐の製品だけでなく、ペルシャ（イラン）など西アジアに由来する意匠や技法を用いた宝物が含まれています。これは、当時の日本が唐を中心とした国際交流ネットワークの中に組み込まれており、世界各地の文化が流入していたことを示しています。選択肢にある国風文化や浄土信仰に基づく建築などは、のちの平安時代の特色です。
問3	答え 3 人々の氏名や年齢を把握し、租・庸・調などの税を確実に徴収するため	唐の制度にならって整備された律令国家では、戸籍をもとに口分田を割り当てる一方で、人々に税や兵役の義務を課しました。稲を納める「租」のほか、都での労働や特産物を納める「庸・調」などは国家財政の重要な基盤であり、それらを正確に管理・徴収するために戸籍が不可欠でした。
問4	答え 1 地方の特産物を都へ納める「調」という税制が定められていたため	古代の税制である「調」は、各地の特産品を中央政府に納める制度でした。これによって、内陸部にある都にも全国から布や魚介類、塩などが集まり、国家の財源や役人への報酬、儀式の供え物として利用されました。選択肢にある「稲を納める（租）」や「労働の代わりに布を納める（庸）」、あるいは「防人」などの制度と区別して理解する必要があります。
問5	答え 3 税の免除を求めて勝手に僧侶になる者が増えていたため、正式な僧侶を認定する基準を設けて仏教の秩序を正した。	当時の日本では、僧侶になると租・庸・調などの税が免除されたため、自称する僧侶が増えて国家財政や秩序が乱れていました。鑑真が「戒律」を伝え、厳格な儀式（授戒）を受けた者だけを正式な僧侶と認める制度を確立したことで、国家による僧侶の統制が可能になりました。
問6	答え 2 大伴家持	奈良時代の天平文化を代表する『万葉集』は、大伴家持が最終的な編纂に大きく関わったと考えられています。選択肢にある紀貫之は平安時代初期の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代初期の『新古今和歌集』の編纂者として知られており、混同しないよう注意が必要です。太安万侶は『古事記』を記録した人物です。
問7	答え 4 国司	律令制度において、中央政府の権威を地方に及ぼすために都から派遣されたのが国司です。彼らは一定の任期を持ち、地元の実力者である豪族から選ばれた「郡司」を指導・監督しながら、戸籍の作成や税の取り立て、裁判などを行いました。鎌倉時代の守護や地頭、明治時代の県令など、他の時代の地方官職と区別することが重要です。
問8	答え 1 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。	律令国家は、戸籍を作成することで人民の数と構成を把握し、それに基づき口分田を配分しました。これによって、農民に納税（租）の義務を負わせ、国家を運営するための財源を安定的に確保しようとしたのです。
問9	答え 1 班田収授の法	律令国家の基本的な土地・人民支配の仕組みとして確立されました。「公地公民」の原則に基づき、国がすべての人々と土地を直接支配することを目指したものです。6年ごとに作成される戸籍に基づき、6歳以上の男女に「区分田」を与え、死後は国に返還させるというサイクルを繰り返しました。
問10	答え 4 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	聖武天皇の時代に平城京を中心に栄えた天平文化は、遣唐使が頻繁に派遣されたことで、当時の唐の高度な文化や仏教の影響を直接的に受けました。正倉院にはペルシャ（ササン朝）風の文様が施された宝物が収められているなど、西アジアの影響も含む国際色豊かな文化であったことが特徴です。一方、日本独自の特色が強まるのは後の国風文化の時代です。
問11	答え 3 平城京	710年に元明天皇によって遷都されたこの都は、唐の長安をモデルにした大規模な都市計画に基づいて造られました。東西と南北に走る道路によって碁盤の目のように区画されており、中央北端には天皇の住まいや官庁が集まる平城宮が置かれました。
問12	答え 2 太政官	明治初期の政府は、急激な近代化を進める一方で、天皇による統治の正当性を示すために「神武創業」を理想に掲げ、大宝律令などで定められた古代の名称を復活させました。正院・左院・右院からなる組織体制は、この太政官の下で機能し、強力な中央集権化を図る目的がありました。
問13	答え 1 防人	律令制において、主に東国（現在の関東地方など）の農民が徴兵され、3年間の任期で九州北部の沿岸警備にあたった兵士のことです。武器や食料、現地までの旅費は自己負担とされたため、農民にとって極めて過酷な軍役でした。万葉集には、故郷や家族との別れを悲しむ彼らの心情を詠んだ「防人歌」が収められています。
問14	答え 2 鑑真	聖武天皇の招きを受け、正しい仏教の規律を日本に定着させるために唐から来日しました。東大寺に戒壇（僧侶として認められるための儀式を行う場所）を設置するなど、それまで曖昧だった僧侶の資格制度を整える役割を果たしました。

奈良時代

名前

問1　奈良時代には、遣唐使によって唐の文化だけでなく、西アジアやインドなどの文物が日本に伝えられました。聖武天皇ゆかりの品を収める正倉院の宝物には、インドを起源とし中国で製作された「螺鈿紫檀五絃琵琶」や、西アジア起源のガラス製品である「瑠璃環」などが含まれています。このような、当時の日本が世界各地の文化の影響を受けていたことを示す文化の特色を、どのように表現しますか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 武士の好みを反映した力強さ
2. 日本独自の国風化
3. 仏教を排除する傾向
4. 国際的な性格

問2　7世紀後半、日本（倭）が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した後、大陸からの侵攻を警戒して九州北部の防衛を強化するために配置された兵士を何と呼びますか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 健児
2. 屯田兵
3. 足軽
4. 防人

問3　701年に制定された大宝律令などの律令制度において、天皇のもとで国政全般を司る最高機関として設置された名称を次の中から選びなさい。なお、この機関は明治初期の官制改革においても、古代の制度を模範として一時的に再興されました。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 太政官
2. 内閣
3. 老中
4. 摂政

問4　律令制において、各地の特産物を都まで運んで納める義務があった税は何と呼ばれますか。平城京跡から出土した、荷札として用いられた木簡などの記述を参考に、正しいものを選択してください。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 公事
2. 庸
3. 調
4. 租

問5　律令国家の形成と変化について述べた次の記述のうち、出来事の時期が古い順に並んでいるものはどれですか。対象となる出来事は「大宝律令の制定」「墾田永年私財法の制定」「平安京への遷都」の3点とします。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定 → 平安京への遷都
2. 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都
3. 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定
4. 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定

問6　奈良時代の税制度において、都からの距離と人々に課せられる負担の関係について正しく述べたものはどれですか。都を中心として同心円状に地域の負担を示した資料の内容を踏まえて答えなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。
2. 都に近い地域ほど、都から遠い地域よりも納める特産物の種類が多く指定されていた。
3. 都に近い地域ほど、特産物を都まで運ぶ往復の移動に日数がかかるため、労役が免除されていた。
4. 都に近い地域ほど、収穫した米の一定割合を納める「租」の負担が重くなっていた。

問7　723年に制定された「三世一身の法」において、新しく土地を開墾した人々に認められた権利と、その後に生じた課題の説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 開墾した土地の私有を認める代わりに、その土地で収穫された稲のすべてを税として納めさせたため、開墾を途中で放棄する者が相次いだ。
2. 開墾した土地を期限なく永久に私有することを認めたが、有力な貴族や寺院が広大な土地を独占したため、農民の生活が苦しくなった。
3. 開墾した土地の私有を三代（または本人一代）という一定の期間に限って認めたが、期限が来ると国に返還しなければならず、開墾意欲が低下する原因となった。
4. 開墾した土地の収穫物をすべて自分のものにすることを認めたが、土地そのものの所有権は認められなかったため、管理が不十分になった。

問8　島根県の伝統芸能である石見神楽には、ヤマタノオロチ退治などの演目があります。これらの演目の題材となっている日本神話が記された、奈良時代に成立した歴史書はどれか。（2020年 島根県公立入試 類似）

1. 古事記
2. 万葉集
3. 懐風藻
4. 日本書紀

問9　奈良時代、聖武天皇の身の回りの品々や、大仏開眼供養に用いられた儀式用の道具など、当時の国際色豊かな宝物を数多く収めていた、東大寺にある高床式の倉庫を何と呼びますか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 法隆寺夢殿
2. 正倉院
3. 唐招提寺金堂
4. 平等院鳳凰堂

問10　大化の改新以降、日本が大陸の王朝にならって構築した「律令」という法体系において、その構成内容に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. 年貢の徴収方法を定める「律」と、対外貿易のルールを定める「令」からなる。
2. 刑罰に関するきまりである「律」と、政治を行ううえでのさまざまなきまりである「令」からなる。
3. 仏教を保護するための「律」と、貴族の階級を定める「令」からなる。
4. 武士の領地争いを裁判する「律」と、天皇の権威を定める「令」からなる。

問11　律令制度のもとでは、全国から都へ「調」や「庸」などの税が運ばれました。これらの特産品に付けられていた木の札である「木簡」の記述から読み取れる、当時の税制の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 文字を読めない農民に対し、仏教の教えを視覚的に伝えるための布教の道具として用いられた
2. 都での市場取引において、金属製の硬貨の代わりに支払いに使われる代用貨幣として機能した
3. 地方から都へ送る品物の内容や送り主の氏名・居住地を記録し、確実に税を徴収するための管理に用いられた
4. 地方の豪族が自身の権力を誇示するために、豪華な装飾を施して古墳に埋葬する副葬品として作られた

問12　正倉院に伝わる「鳥毛立女屏風」には樹木の下で唐風の衣装をまとった女性が描かれています。このような国際色豊かな文化が栄えた時代において、その時代（天平文化）の特徴を正しく説明している仏教彫刻はどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 飛鳥地方を中心に建立された寺院に見られる、北魏様式などの特徴を持つ日本最古の仏像
2. 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像
3. 京都の広隆寺に安置されている、飛鳥時代の渡来人による技術の影響が見られる弥勒菩薩像
4. 平安時代に藤原氏の権力を背景として、平等院鳳凰堂に安置された定朝作の阿弥陀如来像

問13　「墾田永年私財法」が日本の土地制度に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 土地と人民はすべて国家のものであるという公地公民の原則が、この法令によって初めて確立された。
2. 農民が口分田を勝手に売買することが全面的に解禁され、班田収授法がより円滑に運用されるようになった。
3. 自ら新しく開墾した土地について、期限を設けず永久に個人の私有地とすることが認められた。
4. 開墾した本人の孫の代までの三世代に限り、土地の私有が認められるようになった。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 国際的な性格	奈良時代、日本は唐の進んだ制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐はシルクロード（絹の道）を通じて西アジアやインドとも活発に交流しており、世界各地の文物が集まる国際的な都市でした。それらが遣唐使によって日本に持ち込まれたため、正倉院の宝物に見られるような、世界各地の要素を併せ持った文化が形成されました。
問2	答え 4 防人	663年の白村江の戦いで敗れた倭は、唐や新羅による報復や日本への侵攻を恐れ、大宰府などがある九州北部の沿岸部を防衛する必要に迫られました。そのため、水城や大野城を築くとともに、沿岸を警備する「防人」を配置して国防を強化しました。
問3	答え 1 太政官	律令制度において行政の最高責任を担った太政官は、明治維新後の新政府でも再び採用されました。これは新政府が、天皇中心の政治を目指す上で、かつての律令国家の仕組みを理想的なモデルとしたためです。1885年に内閣制度が発足するまで、この太政官が最高機関としての役割を果たしました。
問4	答え 3 調	律令制下における税制のうち、布や塩、海産物、木綿といった各地の特産物を都に納める負担を「調」と呼びます。平城京跡からは、肥後国（現在の熊本県）から調として木綿が送られたことを示す木簡が発見されており、当時の物流や税制の仕組みを裏付ける貴重な資料となっています。一方、「租」は田の面積に応じて稲を納めるもの、「庸」は都での労役に代えて布などを納めるものです。
問5	答え 2 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都	701年に大宝律令が制定されて律令国家の仕組みが整い、その後、人口増加による土地不足を解消するため743年に墾田永年私財法が制定されました。そして8世紀末の794年に、政治の刷新を目指して平安京への遷都が行われました。これらの流れは律令体制が確立した後に、土地制度の変化などを経て平安時代へと移行していく過程を示しています。
問6	答え 1 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。	奈良時代の律令制度では、都からの距離に応じて税や労働の負担が調整されていました。都に近い地域（畿内など）に住む人々は、都までの移動距離が短く、移動に要する日数が少なくて済むため、その分、実際に都で働く「労役（賦役）」の日数が多く課せられていました。これは、遠方の地域の人々が特産物などを都まで運ぶのに多大な日数を費やすこととのバランスを考慮した仕組みです。「租」は主に田地の面積に応じて課されるものであり、都からの距離によって収穫量の割合が変わるものではありません。
問7	答え 3 開墾した土地の私有を三代（または本人一代）という一定の期間に限って認めたが、期限が来ると国に返還しなければならず、開墾意欲が低下する原因となった。	三世一身の法は、人口増加による口分田の不足を解消するために、開墾を奨励する目的で制定されました。しかし、この法律による私有の制限は「一定の期間」のみであり、期限が近づくと土地が荒廃したり、開墾の手が止まったりするなどの問題が発生しました。この反省から、後に永年私有を認める墾田永年私財法が制定されることになります。
問8	答え 1 古事記	石見神楽などの各地の伝統芸能や祭礼は、この歴史書に記された神話をモチーフにしているものが多くあります。この書物は現存する日本最古の歴史書であり、当時の人々の世界観や神話を知る上で非常に重要な資料となっています。
問9	答え 2 正倉院	奈良県の東大寺に位置する正倉院は、聖武天皇ゆかりの品々や、当時の日本が交流していた大陸の文化を伝える貴重な宝物を収蔵しています。湿気を防ぐための高床式、特に三角形の木材を組み上げた校倉造（あぜくらづくり）という建築様式が特徴です。
問10	答え 2 刑罰に関するきまりである「律」と、政治を行ううえでのさまざまなきまりである「令」からなる。	唐などの法制度を参考にして日本に導入されました。律は犯罪に対する処罰を規定する現在の刑法に相当し、令は政治の組織や運営、人々の生活ルール、役人の仕事の内容などを規定する現在の行政法などに近い役割を担っていました。この体系の整備により、日本は法に基づく国家運営（律令国家）へと移行しました。
問11	答え 3 地方から都へ送る品物の内容や送り主の氏名・居住地を記録し、確実に税を徴収するための管理に用いられた	発掘された木簡には、「どの国のどの郡の誰が、何を納めたか」が詳細に記されています。これは、中央政府（朝廷）が地方からの税を正確に把握・管理していた証拠であり、律令国家による中央集権的な統治の仕組みを具体的に示す貴重な史料となっています。宗教的な道具や貨幣、古墳の副葬品としての役割は、木簡の主な目的ではありません。
問12	答え 2 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像	奈良時代の天平文化は、唐の文化や仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化です。この時代の仏像は、鎮護国家の思想に基づき、国家の安泰を願って造られました。広隆寺の弥勒菩薩や飛鳥地方の仏像はそれ以前の飛鳥時代の文化、平等院の阿弥陀如来像は後の平安時代（国風文化）の仏像であり、制作された背景や目的が異なります。
問13	答え 3 自ら新しく開墾した土地について、期限を設けず永久に個人の私有地とすることが認められた。	743年に制定されたこの法令の最大の特徴は、文字通り「永年」の「私財（私有）」を認めた点にあります。これ以前は「公地公民」の原則の下、土地はすべて国家のものでしたが、口分田の不足を解消するために私有を認める方針へと転換しました。これにより、勢力のある貴族や寺院が農民や浮浪者を使って大規模な開墾を進め、私有地である「荘園」を広げていくきっかけとなりました。

奈良時代

名前

問1　奈良時代の貴族の食生活を記した資料からは、都で千葉県産のアワビや石川県産のサバといった全国各地の特産物が消費されていたことがわかります。このように、各地の産物を都まで運び、中央政府へ直接納めるよう定められた税の仕組みを何と呼びますか。（2022年 広島県公立入試 類似）

1. 公事
2. 租
3. 庸
4. 調

問2　聖武天皇の時代に、当初は政府から弾圧されていた僧侶の行基が、後に高い位を与えられて大仏の造立に協力することになった理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから
2. 遣唐使として唐に渡り、最新の建築技術や土木技術を日本に初めて持ち帰った功績が認められたから
3. 鎌倉時代に新仏教を興した開祖たちと同様に、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈願したから
4. 地方の国府や国分寺の周辺で発生した反乱を、仏教の教えを用いて鎮圧することに成功したから

問3　奈良時代、聖武天皇は仏教の力で国家の安定をはかろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、各地に寺院を建立しました。聖武天皇がこのような政策をとった背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）

1. 各地の有力な豪族を役人として登用し、地方行政を強化するため
2. 疫病の流行や政治の混乱などの社会不安を、宗教の力で鎮めるため
3. 貴族の権威を民衆に示し、重い税を課して財政を立て直すため
4. 仏教を広めることで、朝鮮半島や中国からの侵略を防ぐ軍事力を高めるため

問4　奈良時代に『古事記』や『日本書紀』といった歴史書が編纂された背景にある、当時の政府の主な目的について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 新潟県公立入試 類似）

1. 仏教の教えを全国に広め、鎮護国家の思想を浸透させるため
2. 貴族や民衆の間に語り継がれていた和歌や私的な日記を保存するため
3. 遣唐使を通じて得た中国の最新の政治制度を国民に知らせるため
4. 天皇による統治の正当性や、国家の成り立ちを国内外に示すため

問5　律令国家の政治組織において、天皇の下には祭祀を司る神祇官と、行政を統括する太政官が置かれました。この地方行政の仕組みにおいて、中央の都から派遣された「国司」のもとで、地元の有力な豪族が任命されて実務を担った役職は何と呼ばれますか。（2023年 岡山県公立入試 類似）

1. 郡司
2. 防人
3. 検非違使
4. 県令

問6　律令制が整えられた時期、政府は戸籍を作成して人々の把握に努めました。この戸籍に基づいて行われた「班田収授法」の内容として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。
2. 有力な貴族や寺社が所有する大規模な私有地を、国家の直轄地として没収する制度。
3. 新しく開墾した土地を、三世代にわたって私有することを認める制度。
4. 平城京の周辺にある土地を、功績のあった役人に対して永久に与える制度。

問7　大宝律令が定められた後の社会では、政府は人々の名前や性別を記録した戸籍を作成し、それをもとに口分田を人々に分け与える仕組みを整えました。この制度において、収穫した稲の約3%を納める「租」とともに、地方の特産物を都まで運んで納める義務のことを何と呼びますか。（2018年 滋賀県公立入試 類似）

1. 防人
2. 調
3. 雑徭
4. 庸

問8　日本の社会と経済の歴史をまとめた年表において、奈良時代の律令政治に関する記述があります。この時代、戸籍に基づいて土地を配分する制度がありましたが、その配分の対象となる人物の条件として正しいものはどれですか。（2024年 石川県公立入試 類似）

1. 性別や身分に関わらず、6歳以上の男女であれば対象となった。
2. 国司や郡司などの役職に就いている地方の有力者のみが対象となった。
3. 自力で原野を切り開き、新しい田地を開発した者のみが対象となった。
4. 家督を継ぐ長男のみが対象となり、女子や次男以下には配分されなかった。

問9　律令国家が日本列島の広範な地域を画一的に支配するために、土地と人々を管理した仕組みについて、背景や目的を含めた説明として正しいものはどれですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）

1. 国司が現地で独自の戸籍を作り、その地域の特産品を自由に売買して国家の財源とした。
2. 全国を境界線のない緩やかな地域連合としてまとめ、各地の慣習法を優先して統治した。
3. 戸籍を作成して人々の把握を行い、それに基づいて口分田を与え、租などの税を徴収した。
4. 有力な農民に土地の所有権を認め、開墾した土地の面積に応じて税を免除した。

問10　奈良時代に墾田永年私財法が制定されるに至った、当時の社会的な背景として最も適切な説明はどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 武士が各地で勢力を強め、自分の領地を法的に保護するよう朝廷に強く求めたため。
2. 大陸との交易を活発にするため、港周辺の土地を民間に売り出し、商工業を育成しようとしたため。
3. 重い税や労役から逃れるために農民が土地を離れ、口分田が不足し、政府の収入が減少したため。
4. 仏教による国家鎮護を目指した聖武天皇が、全国の農民に寺院を建立するための土地を与えたため。

問11　7世紀から9世紀にかけて、日本が唐（中国）に「遣唐使」を派遣した最大の目的として、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 唐と軍事同盟を結び、朝鮮半島へ共同出兵すること
2. 唐の進んだ制度や文化を取り入れること
3. キリスト教の布教を日本で許可してもらうための交渉
4. 日本の特産品を売って銀や銅などの資源を大量に獲得すること

問12　律令国家が「班田収授法」を定め、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与えた目的と、その背景にある仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 貴族や寺社に広い私有地を与え、地方の開墾を効率的に進めさせるため。
2. 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。
3. 能力の高い農民に多くの土地を優先的に配分し、農業の生産性を高めるため。
4. 土地の売買を自由化することで流通を活発にし、国家の財政を潤すため。

問13　藤原不比等の娘である光明子が、臣下の出身として初めて皇后（聖武天皇の后）となった背景には、当時の政治と仏教が深く結びついていたことが挙げられます。この時代の文化的な出来事として正しい記述を選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 藤原氏が摂政・関白として実権を握る中で、浄土信仰に基づき阿弥陀堂建築が全国に広まった。
2. 聖徳太子が推古天皇を助けて政治を行い、法隆寺などの優れた建築や彫刻が残された。
3. 聖武天皇とともに仏教を厚く信仰した光明子の影響もあり、国分寺・国分尼寺の建立が進められた。
4. 藤原道長が権勢を誇った時代に、唐風の文化から脱却したかな文字による文学が発達した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 調	律令国家の税制において、成人男性には「租・庸・調」などの負担が課せられていました。口分田の面積に応じて稲を納める「租」に対し、各地の特産物（布、魚介類、塩など）を都まで運んで納める義務が「調」です。この制度により、中央の貴族は全国から集まる多様な食材や物資を利用することが可能になり、天皇を中心とした中央集権的な経済構造が支えられていました。
問2	答え 1 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから	聖武天皇は仏教の力で国を安定させようと大仏の造立を計画しましたが、それには膨大な労働力と寄付（資金）が必要でした。政府は、かつては弾圧していたものの、民衆から絶大な支持を受け、橋やため池の建設を指揮していた行基の協力なしには、この国家的な大事業を完遂できないと判断して彼を重用しました。
問3	答え 2 疫病の流行や政治の混乱などの社会不安を、宗教の力で鎮めるため	聖武天皇の時代には、天然痘の流行や藤原広嗣の乱による政治の混乱など、深刻な社会不安が続いていました。天皇は仏教を深く信仰し、その力によって災いを払い、国家を守ろうと考えました。これを「鎮護国家」の思想と呼び、その実践として東大寺の造営や国分寺の建立が行われました。
問4	答え 4 天皇による統治の正当性や、国家の成り立ちを国内外に示すため	律令国家の形成期において、日本という国がどのような神話に基づき、どのような経緯で成立したのかを明文化する必要がありました。これにより、天皇が日本を治めることの正当性を国内の豪族や、唐・新羅といった諸外国に示す狙いがありました。そのため、神話から記録までが一連の歴史としてまとめられています。
問5	答え 1 郡司	律令国家の地方支配は、国・郡・里という単位で行われました。中央から派遣された国司が「国」の政治を監督し、その下の単位である「郡」では、地元の状況に詳しい豪族が「郡司」に任命されて、租税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。これにより、中央政府の命令を地方の末端まで浸透させようとしました。
問6	答え 1 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。	律令国家の形成期において、国家は「租」という税を確実に集めるために、班田収授法を確立しました。戸籍をもとに6歳以上の男女に口分田を割り当て、労働力を把握すると同時に、土地の売買や世襲を禁じることで、国家による土地支配を維持しようとしました。これに対して、後に制定された「墾田永年私財法」は、開墾した土地の永年私有を認めるものであり、班田収授法の崩壊につながる出来事でした。
問7	答え 2 調	律令制下では、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与える班田収授法が行われました。土地を与えられた農民には重い税が課されており、収穫した稲を納める「租」のほかに、各地の特産品（絹や布、糸、海産物など）を都まで直接運んで納める「調」という負担がありました。このほか、都での労役の代わりに布を納める「庸」なども存在し、農民の生活を圧迫しました。
問8	答え 1 性別や身分に関わらず、6歳以上の男女であれば対象となった。	律令制度のもとでは、6年ごとに作成される戸籍に基づき、6歳以上の全ての男女に口分田が割り当てられました。良民の男子は2段、女子はその3分の2といったように、性別や身分（良民・賤民）によって面積に差はありましたが、原則として対象者全員に土地が与えられる仕組みになっていました。
問9	答え 3 戸籍を作成して人々の把握を行い、それに基づいて口分田を与え、租などの税を徴収した。	律令国家の統治の根幹は、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則にありました。そのために全国で戸籍を作成して人々の性別や年齢を把握し、それに基づき口分田を貸し与える「班田収授法」を施行しました。これにより、国家は安定的に税（租・庸・調など）を徴収する基盤を築きました。
問10	答え 3 重い税や労役から逃れるために農民が土地を離れ、口分田が不足し、政府の収入が減少したため。	班田収授の法に基づき、農民には口分田が与えられましたが、租・庸・調などの重い税負担がありました。そのため、生活に苦しむ農民が土地を捨てて逃げ出す（逃亡）ことが相次ぎ、口分田が荒廃して不足しました。政府は土地を増やして税収を確保するため、開墾した土地の私有を認める方針に転換しました。
問11	答え 2 唐の進んだ制度や文化を取り入れること	当時の日本は、強大な中央集権国家であった唐の法律（律令）や仏教、芸術などを学ぶことで、日本の国家体制を整えようとしました。この使節団には、役人のほかに最澄や空海のような学問僧、さらには留学生も多く含まれていました。
問12	答え 2 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。	律令国家にとって、土地と人民を直接支配する「公地公民」の原則は、国家財政を維持するための根幹でした。戸籍によって一人ひとりの人民を把握し、口分田を与える代わりに「租（収穫した稲の約3%）」などの税を課すことで、国家の収入を安定させる狙いがありました。そのため、私有地を増やすことや土地の自由な売買は、当初の律令制度の目的とは相反するものでした。
問13	答え 3 聖武天皇とともに仏教を厚く信仰した光明子の影響もあり、国分寺・国分尼寺の建立が進められた。	光明子は、父である藤原不比等の死後、藤原氏の権勢を維持するために聖武天皇の皇后となりました。彼女は熱心な仏教徒であり、病人の治療や貧しい人々の救済を目的とした施設（施薬院・悲田院）を設置したほか、夫である聖武天皇が進めた国分寺・国分尼寺の建立を強く後押ししました。これが天平文化における仏教の普及に大きく貢献しました。